

別紙1 参考様式

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
御船町	南田代第4・水源	R4. 3. 9	R3. 3. 31

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積（a）	9,503
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	5,953
③地区内における70歳以上の農業者の耕作面積の合計	2,134
i うち後継者がいる農業者の耕作面積の合計	0
ii うち後継者がいない農業者の耕作面積の合計	2,134
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0
（備考）	

2 対象地区の課題

10年後の集落内の農業について全ての者が問題視している、その問題点として「耕作放棄地の増加」「高齢化」「経営体の不足」が挙げられる。
 集落営農組織として、地区の圃場を、中山間直接支払制度を活用し維持管理しているが、廃止されれば、経費の負担が大きくなり、地区の営農活動は衰退してしまうことが予想される。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

今後5年間で流動化が予定される農地については、現在の耕作者の状況及び所有者の意向を考慮したうえで、集落での話し合いを重ねながら、担い手への集約化を図っていく。

（参考）中心経営体

中心経営体数	現状の耕作面積	農地の引き受けの意向
66人	5,953 a	5,953 a